

桐生商工会議所管内
景況調査報告書

第134回

(2021年7～9月期)

令和3年11月

桐生商工会議所

桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。
2. 調査時点 2021年9月1日
3. 調査期間 2021年7～9月期
4. 調査対象企業数 380企業（うち回答企業数166企業）
5. 調査対象業種
- ①建設業（回答企業数28企業）
建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他
- ②商業・サービス業（回答企業数77企業）
卸売業、小売業、飲食業、サービス業
- ③製造業
- 機械金属関連業（回答企業数32企業）
鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他
- 繊維工業（回答企業数29企業）
撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で**-26**。前期（-21）比は**-5**ポイントとなった。また前年同期（-60）比では**+34**ポイントとなった。

業種別では、**建設業-22**（前期比-9、前年同期比+18）、**商業・サービス業-55**（前期比-20、前年同期比+16）、**機械金属製造業+37**（前期比+19、前年同期比+93）、**繊維製造業-21**（前期比+19、前年同期比+29）となっている。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で**-25**。前期（-24）比は**-1**ポイント、前年同期（-57）では**+32**ポイントとなった。

業種別では、**建設業-39**（前期比-20、前年同期比-8）、**商業・サービス業-49**（前期比-10、前年同期比+16）、**機械金属製造業+40**（前期比+24、前年同期比+90）、**繊維製造業-21**（前期比+17、前年同期比+33）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で**-23**。前期（-20）比では**-3**ポイント、前年同期（-62）比では**+39**ポイントとなった。

業種別では**建設業-23ポイント**（前期比+5、前年同期比+24）、**商業・サービス業-39ポイント**（前期比-15、前年同期比+29）、**機械金属製造業+32ポイント**（前期比+17、前年同期比+87）、**繊維製造業-32ポイント**（前期比+8、前年同期比+35）となっている。

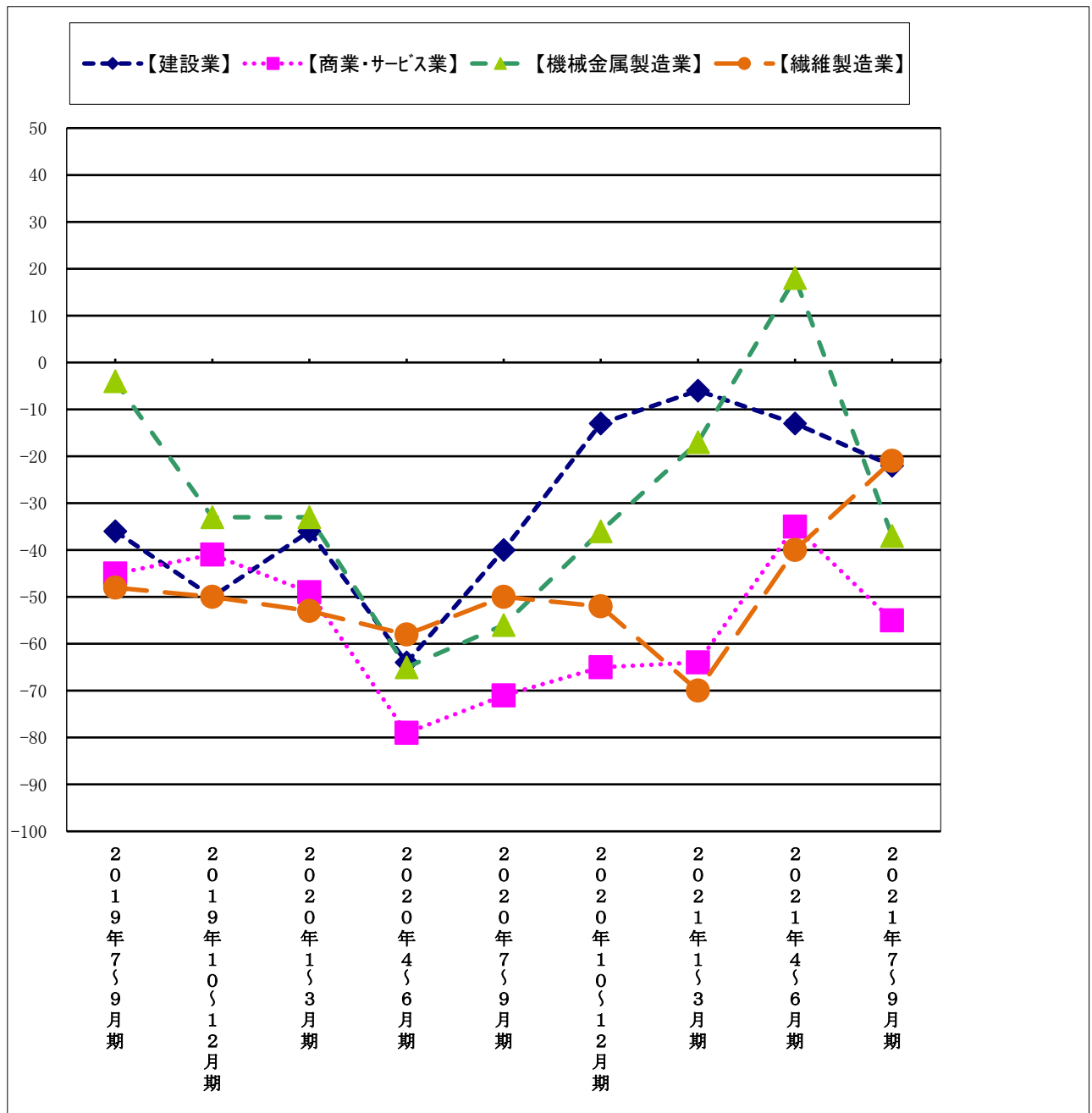
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「材料価格の上昇」（23.9%）「民間需要の停滞」（18.3%）、**商業・サービス業**では「需要の停滞」（17.9%）「消費者ニーズの変化への対応」（12.8%）、**機械金属製造業**では「原材料価格の上昇」（15.2%）「需要の停滞」（12.7%）、**繊維製造業**では「需要の停滞」（30.7%）「原材料価格の上昇」（16.0%）が上位となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2019年7～9月期	-36	-45	-4	-48
2019年10～12月期	-50	-41	-33	-50
2020年1～3月期	-36	-49	-33	-53
2020年4～6月期	-64	-79	-65	-58
2020年7～9月期	-40	-71	-56	-50
2020年10～12月期	-13	-65	-36	-52
2021年1～3月期	-6	-64	-17	-70
2021年4～6月期	-13	-35	18	-40
2021年7～9月期	-22	-55	-37	-21

[2019年7～9月期] から [2021年7～9月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-22**。前期比は-9、前年同期比では+18ポイントとなった。
業種別では**建築・大工業 [-25]、土木業 [-50]、管工事業[±0]、鉄骨・鉄筋業 [±0]、電気工事業[-20]、その他 [-22]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-23**。前期比+5、前年同期比では+24ポイントとなっている。

【商業・サービス業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-55**。前期比は-20、前年同期比では+16ポイントとなった。
業種別では、**卸売業 [-67]、小売業 [-56]、飲食業 [-86]、サービス業では [-45]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-39**。前期比-15、前年同期比では+29ポイントとなっている。

【機械金属製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは+37**。前期比では+19、前年同期比では+93ポイントとなった。
業種別では、**鉄鋼業 [±0]、非鉄金属業 [±0]、金属製品業 [+43]、一般機械器具業 [+33]、電気機械器具業 [+100]、輸送用機械器具業 [+40]、精密機械器具業 [+100]、プラスチック製造業 [+17]、その他 [±0]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは+32**。前期比+17、前年同期比+87ポイントとなっている。

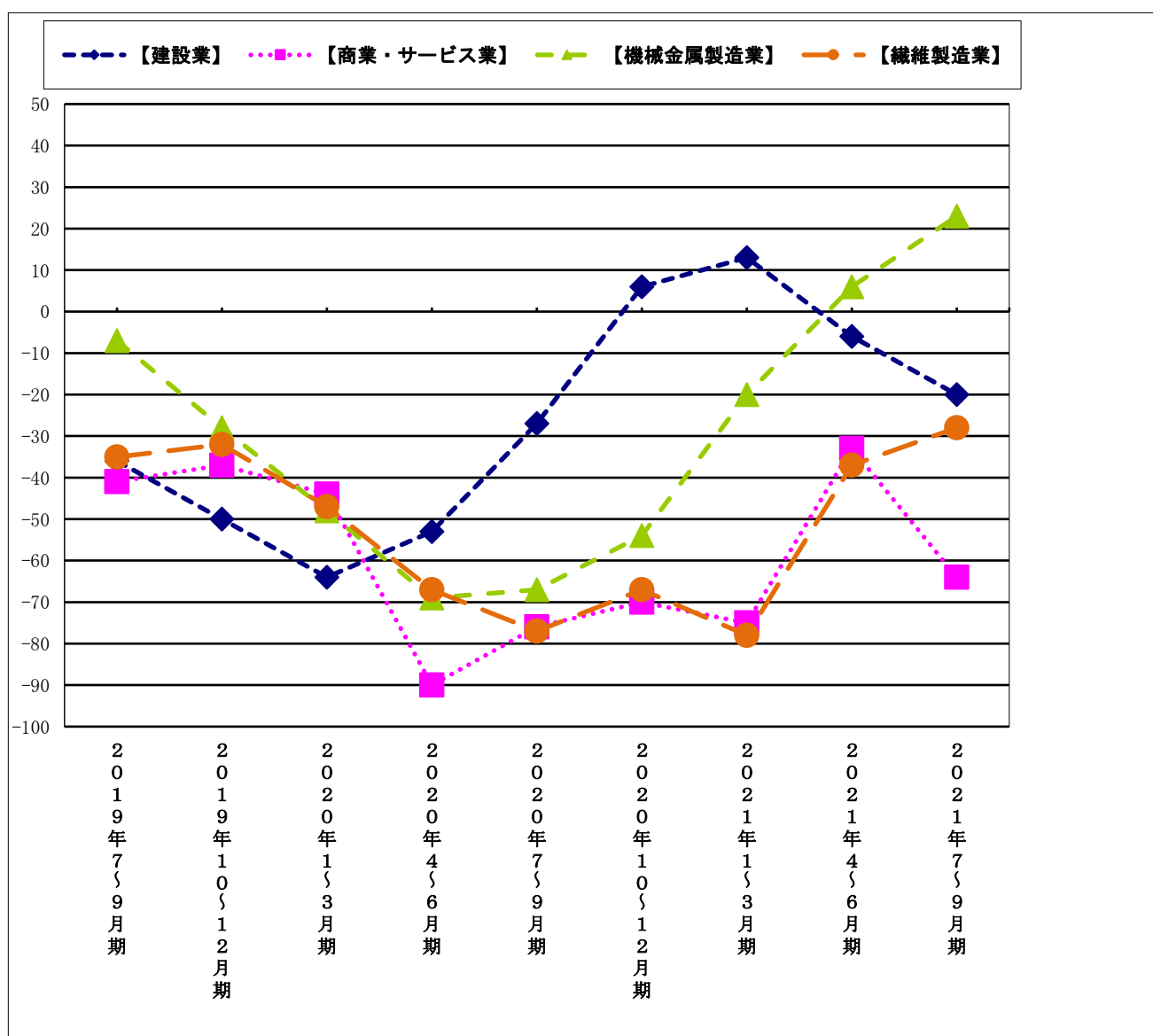
【繊維製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-21**。前期比では+19、前年同期比では+29ポイントとなった。
業種別では、**織物業 [-25]、染色整理業 [-50]、ニット・メリヤス業 [+100]、レース業 [+100]、縫製業 [±0]、刺繍業 [-29]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-32**。前期比+8、前年同期比では+35ポイントとなっている。

売上額（完成工事額）DIの推移

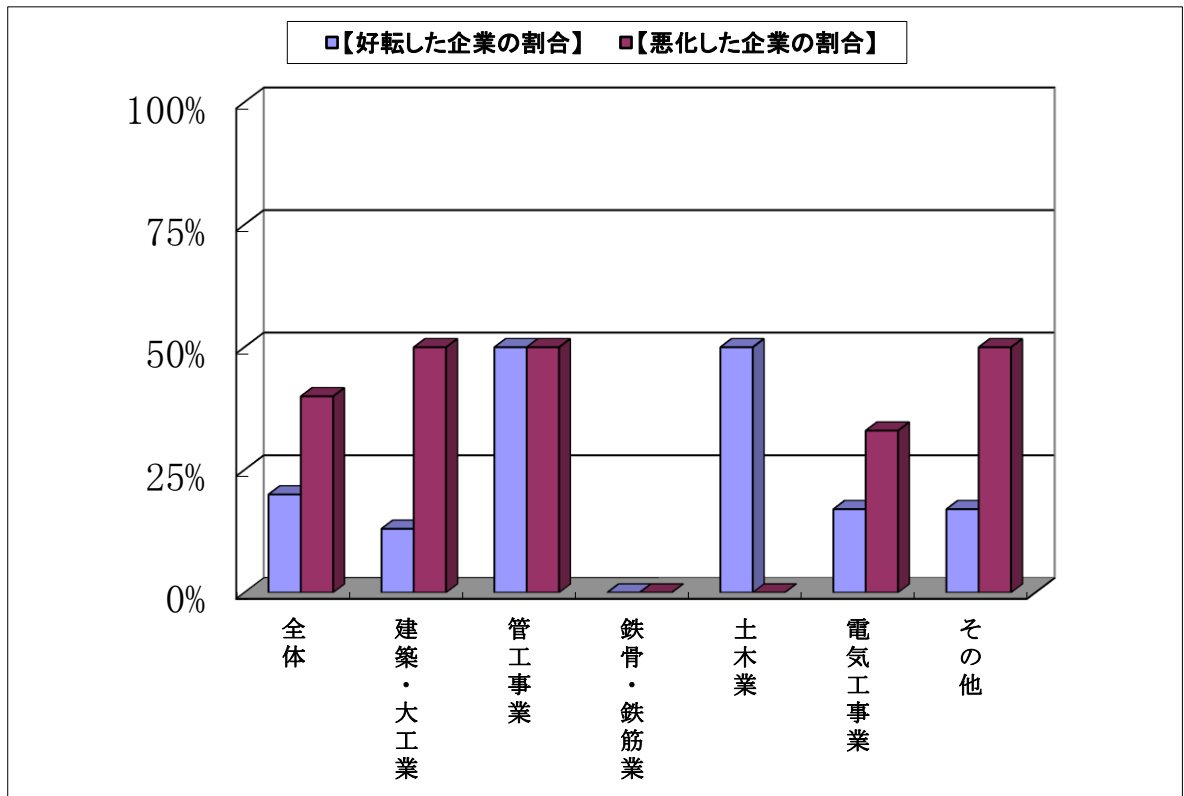
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2019年7～9月期	-36	-41	-7	-35
2019年10～12月期	-50	-37	-28	-32
2020年1～3月期	-64	-44	-48	-47
2020年4～6月期	-53	-90	-69	-67
2020年7～9月期	-27	-76	-67	-77
2020年10～12月期	6	-70	-54	-67
2021年1～3月期	13	-75	-20	-78
2021年4～6月期	-6	-33	6	-37
2021年7～9月期	-20	-64	23	-28

[2019年7～9月期] から [2021年7～9月期]

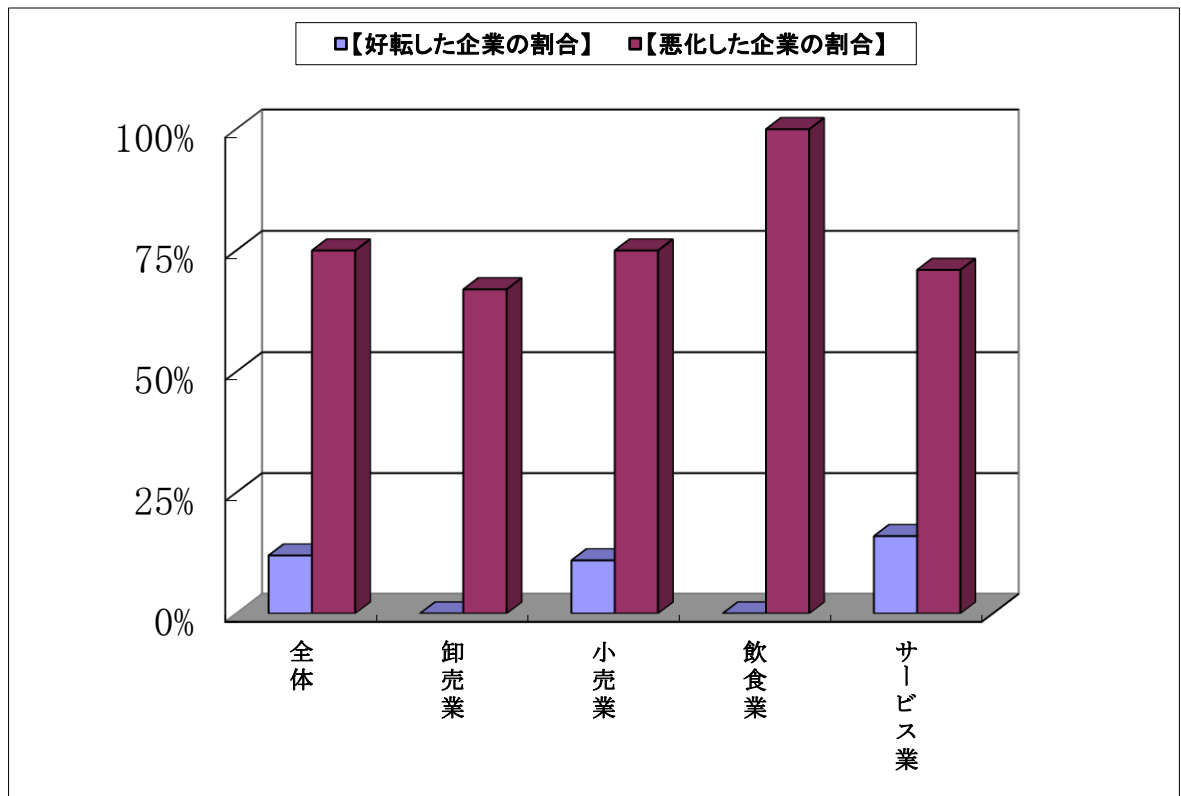


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

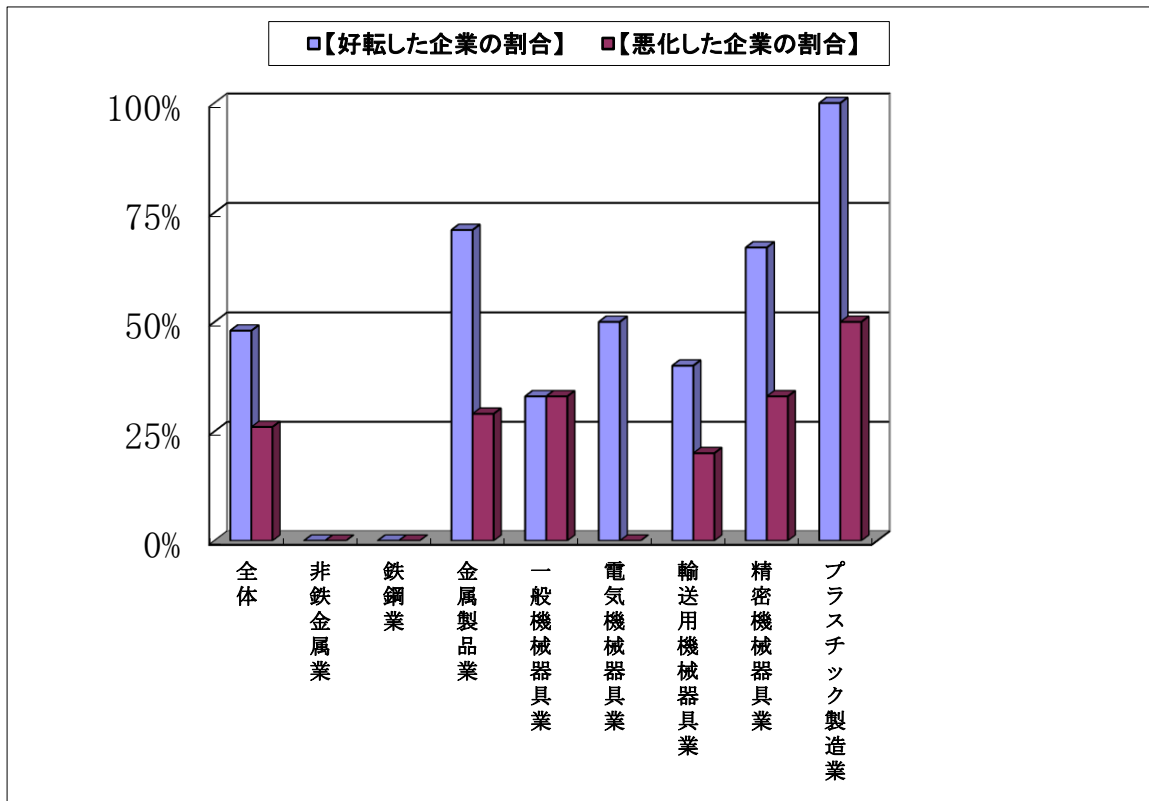
【建設業】



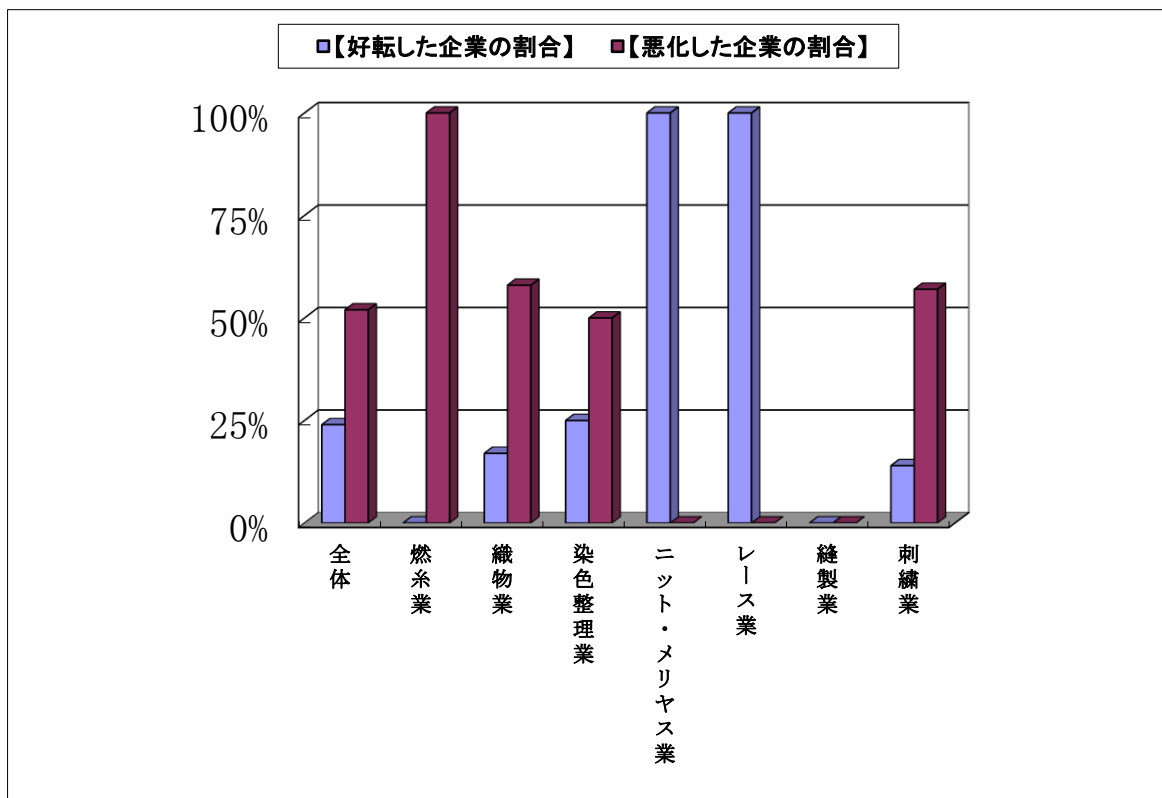
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



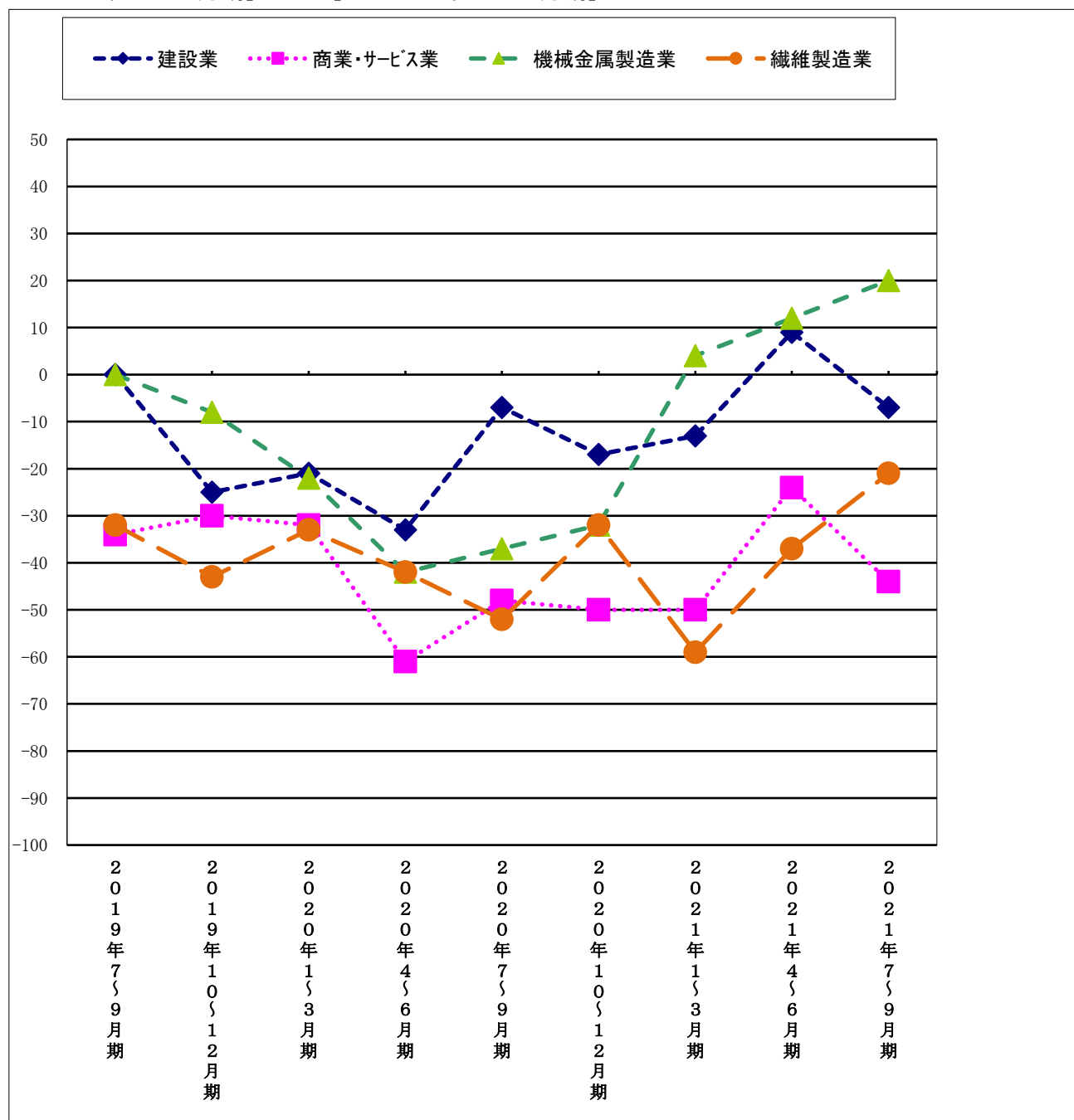
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
2019年7～9月期	0	-34	0	-32
2019年10～12月期	-25	-30	-8	-43
2020年1～3月期	-21	-32	-22	-33
2020年4～6月期	-33	-61	-42	-42
2020年7～9月期	-7	-48	-37	-52
2020年10～12月期	-17	-50	-32	-32
2021年1～3月期	-13	-50	4	-59
2021年4～6月期	9	-24	12	-37
2021年7～9月期	-7	-44	20	-21

[2019年7～9月期] から [2021年7～9月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
建設業	材料価格の上昇 23.9	民間需要の停滞 18.3	熟練技術者の確保難 8.5	官公需要の停滞 8.5	請負単価の低下・上昇難 8.4
前期	2位 19.3	1位 24.1	3位 13.3	6位 6.0	4位 9.6
前年同期	6位 4.9	1位 22.0	2位 14.6	8位 2.4	4位 9.8
商業・サービス業	需要の停滞 17.9	消費者ニーズの変化への対応 12.8	従業員の確保難 9.2	購買力の他地域への流出 8.7	人件費の増加 7.7
前期	1位 20.5	2位 14.1	3位 8.6	3位 8.6	6位 5.9
前年同期	1位 23.5	2位 12.1	11位 3.4	3位 9.4	8位 4.7
機械金属製造業	原材料価格の上昇 15.2	需要の停滞 12.7	製品単価の低下・上昇難 11.4	生産設備の不足・老朽化 10.1	従業員の確保難 10.1
前期	2位 13.8	1位 14.9	3位 12.8	4位 9.6	5位 8.5
前年同期	10位 1.4	1位 20.5	2位 16.4	4位 9.6	7位 5.5
繊維工業製造業	需要の停滞 30.7	原材料価格の上昇 16.0	製品単価の低下・上昇難 12.0	製品ニーズの変化への対応 8.0	生産設備の不足・老朽化 6.7
前期	1位 28.6	3位 8.3	3位 8.3	2位 10.7	6位 7.1
前年同期	1位 31.3	5位 7.8	2位 14.1	3位 12.5	4位 9.4

事業所からのコメント（直面している問題点など）

〔建設業〕

- ・材料価格の上昇、従業員の確保難、人件費増加
- ・需要の減少により売上低下
- ・引き合い数に対して人手不足
- ・木材の高騰によるウッドショックで入手困難
- ・設備投資が停滞
- ・官民工事の停滞

〔商業・サービス業〕

- ・客足が悪い
- ・店主の高齢化
- ・緊急事態宣言と大雨と猛暑の異常気象等で夏は厳しい状況が続いている
- ・コロナ感染の終息時期が遅くならないように願う
- ・感染対策を講じ営業努力を重ねているが、緊急事態宣言下では家族葬が中心となり難しい経営を強いられている
- ・テイクアウト、デリバリー、ドライブスルー、SNS活用、オーダエントリーシステム等コロナ渦での多様化への対応の迅速さ

〔機械金属関連業〕

- ・経費、人件費の抑制
- ・半導体不足による受注数減少
- ・材料の入荷難
- ・新卒社員の確保難
- ・コロナの影響により受注キャンセルが出ている
- ・ベトナム、シンガポール、タイからの自動車部品が遅れているためラインが止まっている

〔繊維工業〕

- ・婦人服市場の不況や各種イベントの中止による影響が大きい
- ・コロナの影響で注文が入らず人の動きも無くイベント関係も中止が重なり大変な状況